

日本福祉大学 第32号

松本オフィス通信



- No.1 学生奮戦記
- No.2 1年生の皆さんに聞きました!
- No.3 につぶく信州の輪、長野県人会
- No.4 日福卒業生はいま
2026年度入試TOPICS

学生奮戦記

長野県出身学生の特徴の一つとして「郷土愛」の強さが挙げられます。今回のお二人も4年間、長野県を離れたからこそ、より一層故郷への思いを強くし、卒業後は長野県に戻って貢献したいと語ってくれました。

作業療法は楽しいぞ!

健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 4年
松尾 哲汰 さん(赤穂高等学校出身)



気が付けば4年生になり、とても充実した毎日を送っています。大学と聞くと、講義が長くて難しそう、周りも知らない人ばかりで友達ができないか不安など、進学を考えている高校生なら誰もが抱くことではないでしょうか。私自身も最初は同じように不安でした。しかし、4年目を迎えた今、ここにきてよかったと思えます。

仲間とともに乗り越える大学生活

作業療法学専攻は40人ほどの少人数で、作業療法士を志した仲間が集まっています。そのため高校のクラスのような感覚で、仲間や友人とのつながりは非常に深く、試験や実習も楽し合いながら乗り越えています。

1年生から4年生を通して臨床実習があるのが本専攻の特徴の一つです。実習は正直に言っても大変ですが、終わった後の達成感は凄まじく、振り返れば楽しかったと思えることの方が多かったです。

また、先生方は皆さん熱心で優しい方ばかりで、就職活動や国家試験対策についても手厚く



サポートしてくださいます。講義では、実際に障害をお持ちの方からお話を聞く機会もあり、より臨床的な思考力を身につけることができます。

地域とのつながり、そして自己管理の重要性

作業療法学専攻は、地域とのつながりが強いことも特徴です。半田キャンパスがある半田市亀崎では、無形文化遺産にも登録されている「亀崎潮干祭」が毎年5月の初週に行われ、私たち学生もボランティアとして祭りを盛り上げています。

一方で、この大学生活における反省点はスケジュール管理です。いつまでに課題をやるか、提出物の期限など、一つのミスが命取りになることもあります。後悔する前に今何をすべきか考えることは、日々のスケジュール管理だけでなく、国家試験に向けた毎日の勉強にもつながります。大学生活を充実させる上で、日々のスケジュール管理は非常に重要だと考えています。

研究活動と将来の目標

現在、私は卒業研究に取り組んでいます。

作業療法学専攻では、4年生になると各ゼミ教員とともに研究を行い、それがそのまま卒業論文となります。4年間の学で疑問に感じたことや興味のある分野を中心にテーマを設定し、毎年10月に行われる卒業研究発表会に向けて取り組んでいます。

私の研究テーマは、下肢の可動域訓練を目的としたリハビリ装置の開発です。現在は先生と企業の方の協力を得ながら進めています。実際に臨床で使用されるまでにはまだ時間がかかりますが、自分の研究が少しでも役に立てるよう、今後も取り組んでいきたいです。

将来の目標は、長野に戻って地元で貢献することです。作業療法士は、リハビリを通じて対象者の生活を幸せにできる仕事だと思っています。これまで人生の大半を過ごした地元長野で、家族や地域社会の方々へ恩返しをすることが今の目標です。この目標を達成するため、来年2月の国家試験に合格し、一回り大きくなった姿で地元へ帰ることができたらと思っています。



人と地域に育てられた大学生活

社会福祉学部 社会福祉学科 行政専修 4年
吉沢 実優 さん(飯田女子高等学校出身)



私は、公務員として住民の生活を支える仕事がしたいという思いから、社会福祉学部の行政専修に所属し、「福祉」と「まちづくり」を主なテーマに大学生活を送ってきました。

大学で最も大きな学びとなったのは、ゼミ活動を通して多くの現場に関わることができたことです。



まちづくり活動での学び

特に印象に残っているのは、2年次に岐阜県下呂市の中山間地域で行ったまちづくり活動です。そこでは廃校を活用した地域づくりが行われており、私たちはオンラインでの聞き取りや現地訪問を重ねました。その中で「世代間交流の機会が少ない」という課題を見出し、学生として何ができるかを考えた結果、モルツクの体験イベントを企画しました。準備段階では、住民の方々や自治体職員、地域おこし協力隊など、多くの関係者と連携しました。活動を共にする中で、まちづくりの大変さと同時にやりがいも実感することができました。イベント当日は未就学児から高齢者まで幅広い世代の方が参加し、新たな世代間交流を生み出すことができたのです。この他にも、愛知県武豊町での防災訓練や

井戸端会議への参加、名古屋市や半田市での審議会の傍聴、さらに半田市で子どもがまちづくりについて話す企画でのファシリテーターなど、様々な活動に携わりました。

こうした経験を通して、行政、住民、地域団体などそれぞれの立場からまちづくりを学ぶことができ、公務員を目指す上で視野と理解を大きく広げることができたと感じています。

スカラシップ生としての経験

私はスカラシップ生として入学し、そのプログラムの一環として、オープンキャンパスや1年生の春期セミナーの企画・運営に携わってきました。昨年度からは夏季合宿も追加で行いました。

高校時代には、自分たちで企画を立てて実行する経験がなかったため、当初は企画や連携に苦労することもありました。しかし、他のスカラシップ生と何度も話し合いを重ねるうちに、少しずつ形にすることができ、最終的には多くの笑顔を見ることができました。

この経験は、自分自身の成長を実感するとともに、チームで何かを創り上げる楽しさを教えてくれました。



バス事故追悼と責任感

大学3年の1月28日には、犀川スキーバス事故の四十一回忌となる現地法要に参加しました。大学の入学式でこの事故の話は聞いていたのですが、どこか過去の出来事として捉えていました。しかし、実際に現地に足を運ぶと、事故の痕跡が一部残っており、当時の悲慘さを肌で感じました。自分たちと同じように福祉に関心を持っていた学生の命が一瞬にして奪われてしまったという事実、言葉にできない複雑な思いが込み上げてきました。事故の起きた長野県出身の学生として、この出来事を風化させてはならないと強く感じ、同世代の学生にも伝えていく責任があると痛感しました。

これからの目標

4年間の大学生活も残り半年となりました。

これまでに培った福祉の知識やまちづくりの経験を糧に、社会人として活躍できるように準備を進めていきたいと考えています。



ようこそ！
日本福祉大学へ

1年生の皆さんに聞きました！ ～受験のこと&これからの目標について～

FIGHT!

今年も長野県から約70名の皆さんが本学に入学しました。学部はそれぞれですが、長野県への思いを胸に、学びも遊びも全力で大学生活を思いつき楽しんでくれることと思います。期待に胸を膨らませた1年生4人に昨年の受験のこと、これからの目標などについて伺いました。



社会福祉学部総合政策専修
杉田 莉穂 さん(信濃つみみ高校出身)



社会福祉学部現代社会専修
直井 朝子 さん(上田染谷丘高校出身)

日本福祉大学を選んだ理由は？

将来、家庭裁判所調査官になりたいという目標があり、その夢に近づく学部があったからです。また、「政策形成実践特講」という実際に公務員の方と関われる授業があり、リアルな現場を知ることができる機会があることに魅力を感じました。自分の進みたい道をしっかりと見据えて学べる環境が整っていると感じ、志望しました。

どんな受験対策をしましたか？

【AO入試】面接対策を中心に準備をしました。特に大切にしていたのは、自信を持って話すことと、話す内容を明確にすることです。話すことに慣れるために先生や友達にも協力してもらいました。本番はとても緊張しましたが、対策のおかげで落ち着いて臨むことができてきました。

大学生活で頑張りたいこと、楽しみにしていることは？

勉強面をしっかりとこなしつつ、自分のやりたいことに積極的に挑戦したいと考えてます。将来に向けた知識や経験を積むのはもちろんですが、今しかできないことにも全力で取り組みたいです。遊びや課外活動なども楽しみながら、大学生活を通して自分自身を成長させていきたいです。充実した大学生活になるように、時間の使い方をバランスよく考えていきたいです！最近ではサークル活動がとても楽しいです！私はバレーサークルに所属していて、初心者ながらも大会に出場させてもらったり、仲間と一緒に体を動かす時間がとても充実しています。運動不足の解消にもなり、楽しく健康な時間を過ごしています。サークル活動は大学生活の楽しみの一つです。



健康科学部リハビリテーション学科
理学療法専攻
細田 空来 さん(辰野高校出身)

日本福祉大学を選んだ理由は？

学生同士が連携して自発的に学ぶ習慣があるため、理学療法士として必要な知識や態度をより深く身につけられるのではないかなと思ったからです。また、オープンキャンパスの際にお聞きした教授のお話に関心を持ったこと、そして国家試験対策など充実した教育環境が整っていること、さらに日本福祉大学が提示している3つのポリシーに自分が合っていると感じたため日本福祉大学を選びました。

どんな受験対策をしましたか？

【AO入試】「自分がどのような理学療法士になりたいか」を明確に、その理想像になるために必要となるものがその大学にあるのかを考えることが必要だと思いました。
【活動評価型入試】高校生活で自分が努力してきたことを自己分析し、その経験がどのように理学療法士としての活動に繋げられるのかを考えることが必要だと思いました。

大学生活で頑張りたいこと、楽しみにしていることは？

国家試験に向けてしっかりと勉強をし、資格取得を目指して努力していきたいです。それだけでなく理学療法士になった後、知識だけにとどまらず、実際に患者様と対面した際に活かせる技能を身につけていきたいです。大学で与えられた時間を有効活用し、友達と遊ぶ時間や趣味に没頭する時間をしっかりと作り、リフレッシュの時間も楽しみたいです。

日本福祉大学を選んだ理由は？

高校時代に東ティモールへ留学した経験が、この大学を選んだ大きな理由です。決して豊かとは言えない国なのに、住んでいる人、特に子どもたちが毎日歌い踊り、家族みんなで幸せそうに暮らしている姿を目の当たりにしました。その光景を見て、本当の幸せは何なのか、日本の子どもたちは本当に幸せなのかと疑問に思うようになりました。日本に住む子どもたちがもっと幸せに生きられる世の中になれたらいい、大学でふくしを学ぶことを決めました。

どんな受験対策をしましたか？

【AO入試】とにかくたくさんの先生に面接練習をしてもらいました。先生によって質問する内容が違いため様々なパターンでの質問になれることが大切だと思いました。

大学生活で頑張りたいこと、楽しみにしていることは？

勉強はもちろん、ボランティアや実習といった課外活動にも積極的に挑戦したいと思っています。福祉を学ぶ上で、政策や歴史、心理学などの知識を深めることはもちろん重要ですが、身につけた知識を実践的な場で活かし、当事者の方々と深く関わることを大切にしたいです。
また、一人暮らしでの生活をめいっぱい楽しみたいです！お金の管理や家事を通じて生活力を向上させ、自分の空間で趣味や新しい挑戦に時間を使いたいです。日福にはボランティアサークルがたくさんあるため、自分に合ったサークルを見つけて、積極的に活動に参加していきたいと思っています！



看護学部看護学科
村上 このん さん(塩尻志学館高校出身)

日本福祉大学を選んだ理由は？

オープンキャンパスに行った際に、多くの先輩方が積極的に声をかけてくださり、とても温かい大学だと感じました。学部紹介を学生が主体となって運営している姿に一人ひとりが活き活きと学んでいる印象を受け、ここで学びたいと強く思いました。

どんな受験対策をしましたか？

高校1年生から評定平均を高く維持するため、定期テストには常に全力を注ぎました。特に、テストの1か月前からは計画的に勉強を始め、徹底した対策を行いました。
【AO入試】10人以上の先生に面接練習をしてもらい、その都度いただいたアドバイスを参考にしながら、改善点を一つずつ克服していきました。また、練習の様子を録音し、自宅でも繰り返し確認することで、本番での自信につなげました。志望動機書は、福祉の先生に内容の相談をし、最後に国語の先生に文章構成や表現について添削していただくことで、完成度を高めました。

大学生活で頑張りたいこと、楽しみにしていることは？

学業面では、日々の勉強にしっかりと取り組み、再試験にならないように頑張ります。保健師等の資格もとれるよう高いGPAを目指したいです。学業以外では、海外旅行など、時間を見つけてたくさん場所へ遊びに行き、視野を広げたいです。その他、自炊で料理の腕を磨いたり、車の免許取得も頑張ります！

学部×キャンパスを超えて広げよう にっぷく 信州の輪

日本福祉大学には、出身県や地域ごとに組織された県人会という団体があります。新入生歓迎会やイベントへの参加を通じて、学部学科や学年を越えた幅広い交流が行われています。現在、秋に開催予定の大学祭での模擬店に向けて、準備を進めています。

「合格者のつどい」を開催!

2025年2月21日(土)、長野県松本市内で「合格者のつどい」を開催し、多くの入学予定者の皆さまにご参加いただきました。入学前の不安を解消し、新生活をスムーズにスタートできるよう、在学生も参加し、さまざまなプログラムを実施しました。

初対面でもすぐに打ち解けられる交流ゲーム

参加者は、相手の魅力を引き出して紹介し合う「他己紹介」などのゲームを通して、多くの共通点を見つけ、初対面にもかかわらず、すぐに打ち解けている様子でした。同学年の仲間だけでなく、在学生の先輩とも交流を深めることができ、イベント全体が和やかな雰囲気となりました。

在学生からは、自身の大学生活での成功体験に加え、あえて失敗談や後悔したことなどが紹介されました。

「新入生の皆さんには同じ失敗を繰り返さず、充実した大学生活を送ってほしい」という温かいメッセージに、入学前の不安が和らいだ学生も多かったようです。

入学後も続く「信州」の絆

イベントで生まれた交流は、入学後も続いています。

「長野県、信州」をキーワードに、県人会や部活・サークル、学部内など、さまざまな場所ですぐに親睦を深めています。



信州出身の先輩がツアーをサポート!

2025年7月26日(土)、長野県から美浜キャンパスへ向かうオープンキャンパスバスツアーを開催し、多くの高校生と保護者の皆様にご参加いただきました。

このツアーを支えたのは、「長野県の高校生のために」と手を挙げた、長野県出身の学生スタッフ14名。短い時間の中で参加者の皆さんに満足してもらえるよう、要望を丁寧に聞き取りながら、各学部の学び体験や大学生生活の紹介企画へと案内し、本学の魅力だけでなく、学生が感じているリアルな声も伝えている姿がありました。

昨年度、受験生としてこのツアーに参加した学生の一人は、「高校生の時に先輩からのアドバイスを心強かったので、今年は自分が受験生のためにできることをしてあげたい」と語り、今年はスタッフとして活躍しました。

参加者の皆様からの感想からは、学生スタッフの熱心な対応、ふりが伝わってきます。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



参加者の声

◆学生スタッフの皆さんがフレンドリーで、積極的に話しかけてくれました。案内も親切で、とても楽しくオープンキャンパスを過ごせました。

◆「一人暮らしで不安になったり、ホームシックにもなったけれど、1つの間にか慣れて、あっという間に4年生になったよ」と言葉をかけてもらい、とても安心したことが印象的です。

◆学生さんや先生方が優しく質問に答えてくださり、帰るのが寂しくなるくらい、楽しくて濃い一日でした!

長野県人会がくれたかけがえのない経験

社会福祉学部 社会福祉学科 行政専修3年
久保田 晃典 さん(飯田OIDE長姫高校出身)



ふるさと、長野への思い

皆さん、こんにちは。日本福祉大学社会福祉学部3年の久保田晃典です。

私は、長野県南信にある小さな村、下條村の出身です。高校は飯田OIDE長姫高校に通っていました。日本には過疎化が進む地域が多くあります。そんな地域を再建するにはどうすればいいのか、また、他の地域に住む人たちにどうすれば移住を呼びかけられるのかを考えるようになり、日本福祉大学に進学しました。

「故郷のつながり」を大切に

現在は、美浜キャンパスを拠点に活動する長野県人会の会長を務めています。

長野県人会は「故郷のつながりを大切に」をモットーに、2025年6月現在、1年生から4年生まで43人が在籍しています。

昨年度は、4月の新入生歓迎会や、焼き肉親睦会、11月の大学祭での長野県名物「おやき」の販売などを実施しました。今年度は、BBQや小旅行など、これまでできなかった活動を少しずつ再開したい



と考えています。

メンバーは全員が長野県出身なので、共通の友人がいたり、部活動でつながったりと、思いがけない交流が生まれることも多いです。初めて会う人とも、地元が同じというだけで会話のきっかけになります。学園祭への参加、新しい友人、頼れる先輩との出会いなど、皆さんが思い描く大学生活を実現できるのが長野県人会です。

県人会がくれた「人生経験」

私は昔から人前で話すことが苦手で、音読や学芸会も避けてきました。今も得意ではありません。でも、「地元が同じ」という共通点を持つ友人と出会ったことで、人に自分の気持ちを伝える楽しさを知ることができました。県人会での経験は、私にとってかけがえのない人生経験になっています。

県人会の活動に参加するにつれて、自分にできること、やらなければならないこと、そして本当にやりたいことを見つけれました。10代から仲間とともに責任を持って活動する環境に身を置くことで、時には自分が我慢しなければならないことも経験しました。そのおかげで、人のために何が

できるかを考え、周りをよく見て行動するようになりました。

人は誰でも、何かを乗り越えて強くなる瞬間が必ずあります。人生において、強くなれる、変わる瞬間があるのは素晴らしいことです。そしてそれは、どんな場所でも自分と環境次第で訪れます。私にとって、その経験ができた場所が、大好きな長野県人会で本当によかったと心から感じています。

先輩方から受け継ぐ「結ぶ絆」

長野県人会には、愛知で活躍されている長野県出身の先輩方や、地元に関する情報が豊富にあります。家業や故郷に貢献したいと考えている学生にとって、活動の第一歩を踏み出すきっかけとなるはず

です。これからも、先輩方が築いてくださった「結ぶ絆」の力によって、メンバーによってよかったと感じてもらえるよう頑張ります。皆さんの大学生活が充実したものになりますように。



創業130年、地域に根差した企業での 「挑戦」と「成長」

都築木材株式会社 井口 里岳 さん

(スポーツ科学部スポーツ科学科 2022年卒)

私の働く都築木材株式会社は、全国への卸売から地域密着型の小売、自社工場での製材・加工、住宅の設計、施工まで、木材に関わる全ての機能を持った木材業界で唯一の会社です。

私は、日本各地のお客様へ木材の卸売販売をする部署で営業をしています。お客様には、プレカット工場や木材間屋など様々な業態があり、売り方もお客様によって異なるためアプローチの仕方を試行錯誤するのも醍醐味です。個人のルマはなく、やりたいと思ったことを実行してくれる懐の広い会社なので仕事への責任感やモチベーションを持てます。

販売する木材は国内外から買い付けるので国内は勿論、海外のサプライヤーと直接取引しています。海外営業所の社員や取引先の方との交渉などは英語が必要になりますが、最大1年間の語学学習プログラムが福利厚生に含まれているので、仕事で英語でのコミュニケーションにチャレンジすることもできます。ときには、来日するサプライヤーをアテンドしたり、日本のお客様と海外のサプライヤーを訪問したり、営業職と一括りにできない程様々な経験ができて日々成長するチャンスや国を越えて多くの方との出会いがあります。

大断面集成材や内装材の生産を得意とする



上場企業のセブン工業株式会社や、窓枠などオリジナルの木製サッシを生産する株式会社アイランドプロファイルをグループ傘下に置き、互いの強みを活かしています。グループ合計の社員総数は600人に上ります。

一方で、130年の歴史を持つ地域に根差した企業という側面もあります。長い歴史の中で築いてきた信頼と知識をもってお客様と真摯に向き合う会社です。お客様に困りごとがあれば、一緒になって解決策を模索しその先に互いの利益を生みだせるような機能があります。「徹底的にフェアに正直に」当社が掲げるこのフィロソフィーは部署関係なく全ての社員に浸透しています。私が就職を決めたのも周囲の人から信頼されている会社だと感じたことが決め手になりました。

私は、スポーツ科学部を卒業し入社しました。専攻した学問分野とは全く異なる業界ですが、何の心配もありません。木材のプロがOから親身に教えてくれます。少しでも興味が湧いたら説明会や会社見学で一度、都築木材に触れてみてください。

皆さんにお会いできる日を楽しみにしております。

ふくしの
お仕事紹介
私の仕事
日福卒生はいま

2026年度 入試TOPICS

文部科学省より令和7年6月3日通知の令和8年度大学入学者選抜実施要項に基づき、実施要項に沿った選考方法に変更を行います。そのため、日本福祉大学「入試ガイド2026」において変更があります。※出願・受験に関しては、「2026年度入学試験要項」で必ずご確認ください。

総合型選抜「AO入学試験」「活動評価型入学試験」

日本福祉大学の総合型選抜には「熱意・意欲」をアピールする「AO」と、「これまでの頑張り」をアピールする「活動評価型」があります。前期日程では2つの入試の併願も可能です。

- POINT 1** 健康科学部リハビリテーション学科 理学療法学専攻 新たに募集開始。AO、活動評価（前期日程）で実施。
- POINT 2** 出願資格には、調査書に記載の全体の学習成績の状況（評定平均値）は問いません！
※一部の学部・専攻を除く
「調査書」を点数化して評価します。
- POINT 3** 看護学部がチャレンジしやすくなりました！

学校推薦型選抜「一般推薦入学試験」

他大学との併願も可能で利用しやすい一般推薦入試。バリエーションがさらに広がり、チャレンジしやすくなりました！

- POINT 1** 文章力でチャレンジする「小論文型」と学力試験対策を活かせる「適性検査型」から自分にあった試験方法を選べます！
- POINT 2** 一部の学部は別方式でもチャレンジが可能です！
◇スポーツ科学部対象の「スポーツ課題文」
◇経済学部対象の「商業情報課題」
◇国際学部対象の「英語（記述式）」
- POINT 3** 定時制・通信制高校もチャレンジできるようになりました。

総合型選抜、学校推薦型選抜の合格者も
「特別奨学生制度」にチャレンジしよう！！

日本福祉大学 特別奨学生制度

最大4年間の授業料と入学金が半額に！

一般入学試験【前期日程】A方式（3教科型）合格者の内、成績上位者25%の方の1年次の授業料と入学金の半額を減免します！2年次以降も、各学部での学業成績(GPA)が上位25%以内であれば、継続して半額減免する制度です。皆さんもぜひ、チャレンジしてください！
※施設維持費、実験実習費、保険料、委託徴収金等は支払いが必要です。

※社会福祉学部志望の方は
【スカラシップAO入試】、
【スカラシップ一般入試】もぜひ挑戦を！

日本福祉大学
受験生サイト



大学資料
請求用



日本福祉大学 松本オフィス

〒390-0815 長野県松本市深志1-1-24・3F
TEL: 0263-31-9011 FAX: 0263-32-8018
MAIL: e-matsumoto@ml.n-fukushi.ac.jp
OPEN: 火曜日～土曜日 9:30～17:30
CLOSE: 日曜日・月曜日・祝日



入試のご相談・面談をはじめ、
さまざまな事でも、お気軽に
ご相談ください！
なお、留守にしている場合が
ありますので、来室される
場合は事前にご連絡いた
だけると幸いです。

松本オフィス通信のバック
ナンバーは下記QRコード
からご覧ください↓



松本オフィスへのご質問・ご相談・
来室の予約はこちらのフォームから→

